



たんまつ端末を使うと、いろいろな情報じょうほうを友だちと共有したり、まとめたことをわかりやすく発表したりすることができます。ここでは、たんまつ端末を使って共有したり、発表したりするときに知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

最初にチェックしてみよう

- わたし私は、上手に友だちと意見を共有する方法を知っている
- わたし私は、友達と情報じょうほうを共有することのメリットを説明できると思う
- わたし私は、チャットなどテキスト（文字）で伝えるときにどんなことに気をつければよいかを知っている
- わたし私は、チャットで変なコメントを書かれたときに、どう対応たいおうすればよいかを知っている

端末を使うと、いろいろな意見をすぐに共有することができます。

あなたは、グループで、「りんごの特徴」と「みかんの特徴」をふせんに書き、共有することにしました。しかし、Aさん、Bさん、Cさん、Dさんには、それぞれ困ったことがあるようです。

上手に活用するために、あなたはどのようにアドバイスしますか。

他の人の意見が読みにくいな…

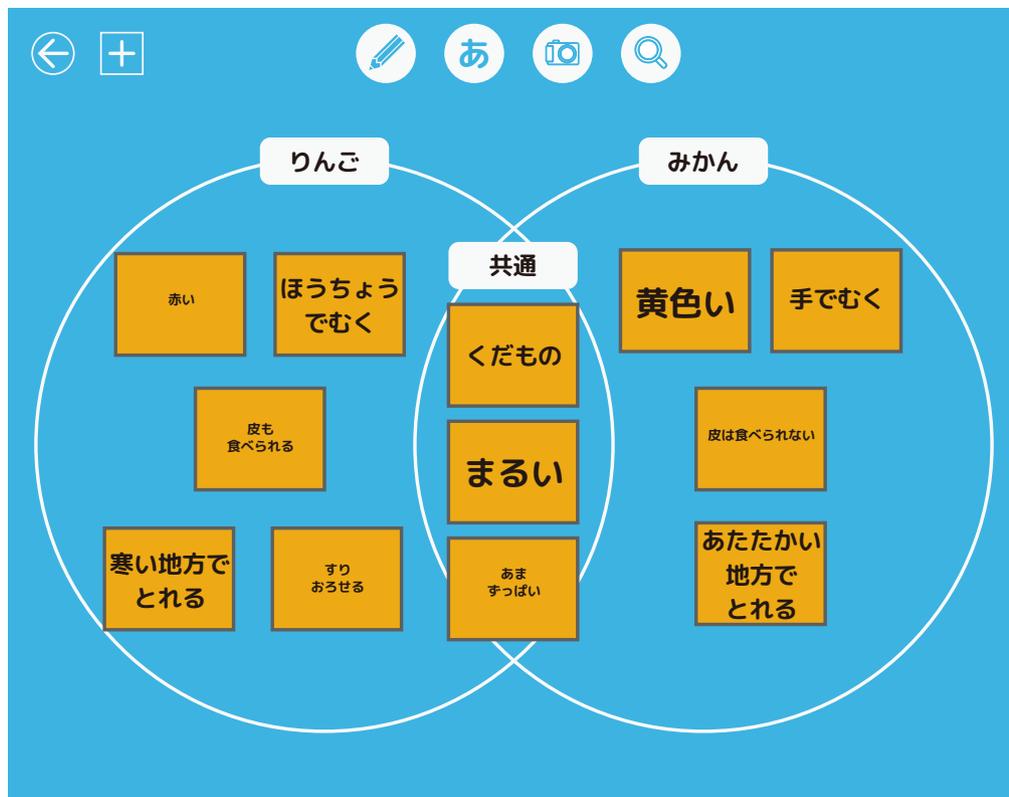


Aさん

間違えて、Aさんが書いたふせんを消しちゃった！



Bさん



どっちがりんごの特徴を書いたふせんだったっけ？



Cさん

新しいちがいを思いついたけど、つけ足して書いていいのかな？



Dさん



文字の大きさをそろえると見やすいよ

他の人の意見が読みにくいな...



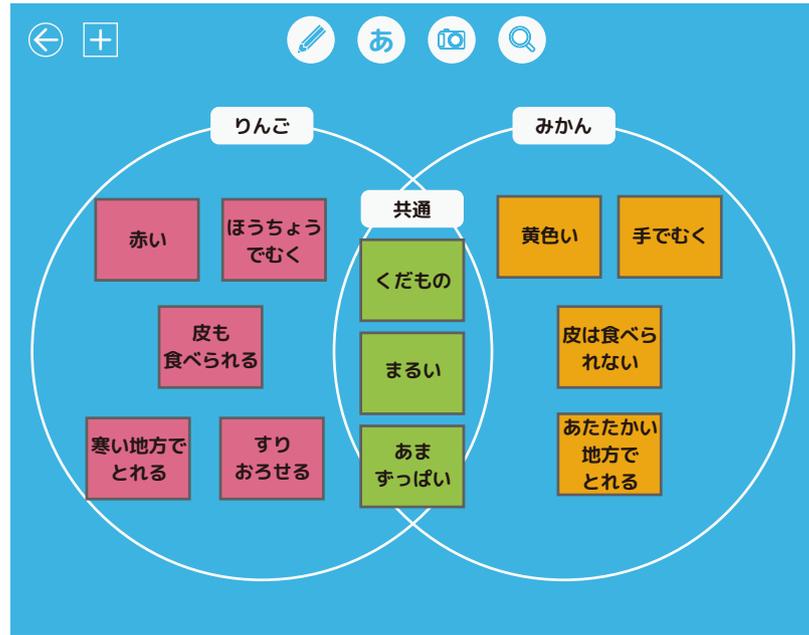
Aさん

もど元に戻せない時は、友だちに伝える方がいいよ

間違えて、Aさんが書いたふせんを消しちゃった!



Bさん



どっちがりんごの特徴を書いたふせんだっけ?



Cさん

新しいちがいを思いついたけど、つけ足して書いていいのかな?



Dさん

ふせんの色を変えるといいよ

新しい考えは、どんどん書き足した方がいいよ

★ スキルのポイント

端末を使うと、いろいろな意見をすぐに共有することができます。また、その場で思いついたことをどんどん書き足すこともできますが、上手に共有するためには、いくつかのポイントがあります。

例えば、同じ色のふせんだと、どちらの意見なのかわかりにくいので、意見によって色を変えてみるとわかりやすくなります。字の大きさも、他の人とそろえておくと、見やすくなります。

また、もし間違えて友だちの意見を消してしまった場合には、「履歴」や「元に戻す」ボタンで戻すこともできますが、もし戻すことができない場合には、正直に伝えて、もう一度書いてもらうようにしましょう。

問題を考える場合、他の人がどんなことを考えているのかを参照し、共有することは、様々なメリットがあります。子どもたちのコメントに、どのようにアドバイスをするか、線でつなげてみましょう。

1

他の人は、今、どんな問題に取り組んでいるのかな？



2

もう答えを考えついちゃってヒマだな



3

どのようにやればいいんだっけ？



4

この考え方でやっているのかな？



A

改善することが
できるよ

他にもっとよい考えがないかを共有できる

B

確かめることが
できるよ

どんな結果や考え方があったのかを共有できる

C

すすみぐあいが
わかるよ

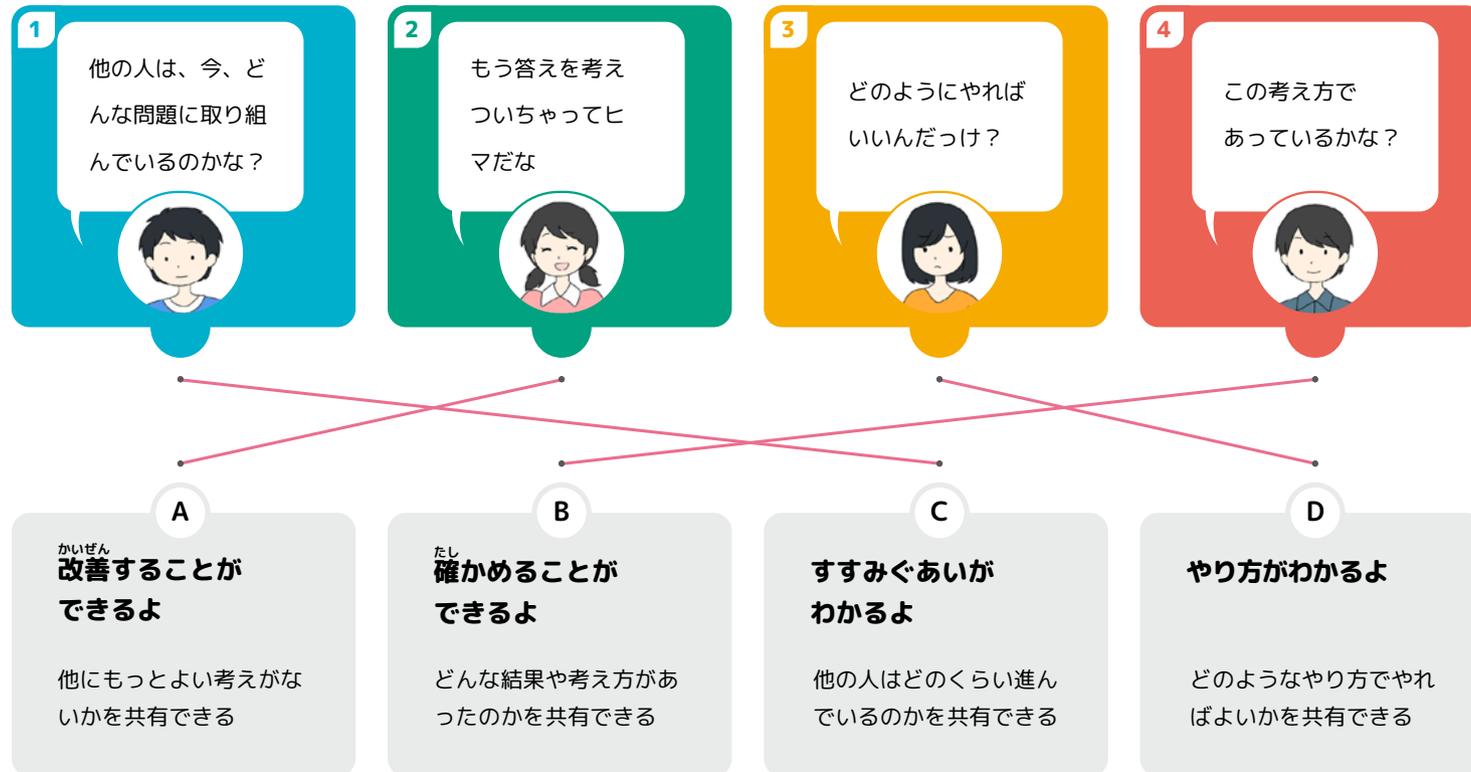
他の人はどのくらい進んでいるのかを共有できる

D

やり方がわかるよ

どのようなやり方でやればよいかを共有できる





★ スキルのポイント

端末で他の人の意見や考えを共有できることは、大きなメリットです。

自分の考えを改善したり、確かめたりすることができますし、他の人の進み具合ややり方を見ることができます。

しかし、便利だからといって、自分が考える前に、他の人の意見を見てしまうと考える練習ができません。どんなメリットがあるのかを考えながら、情報を共有していきましょう。



相手に伝えるときには

次の4つの伝え方について、あなたがほめられていると感じる順に並べてください。^{なら}

1



口頭（対面）で笑顔で「まじめだね！」と伝えた

2



「まじめだね！（イラスト）」とメッセージを送った

3



「まじめだね」とメッセージを送った

4



「まじめだね！」とメッセージを送った

ほめられていると感じる



ほめられていると感じない





★ スキルのポイント

口頭（対面）で伝える場合は、相手の顔の表情^{ひょうじょう}などから、相手の感情^{かんじょう}を読み取ることができますが、チャットなどのテキストメッセージの場合は、相手の感情^{かんじょう}を読み取ることが難しくなります。

同じ言葉でも「！」や「イラスト」を使うことで、自分や相手がどのように感じるのか、友だちと比較^{ひかく}してみましょう。

また、例えば、お願いするときやあやまる時など、口頭（対面）で伝えた方がよい場面、テキストで伝えたほうがよい場面を考えてみましょう。



みなさんのクラスのグループチャットに、「〇〇はバカ」という書き込みがありました。

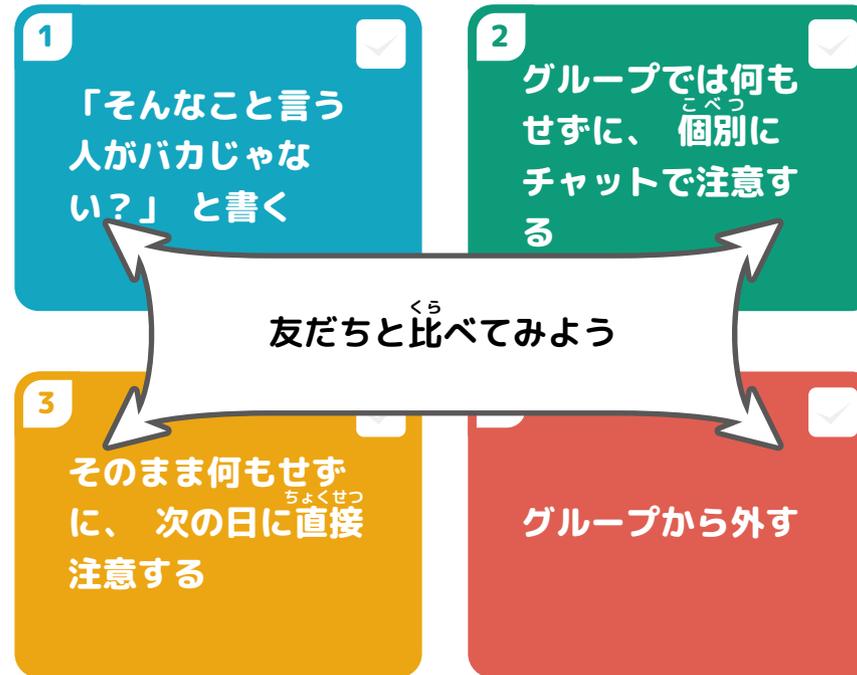
あなたは、どのよう^{たいおう}に対応しますか。

1 「そんなこと言う人がバカじゃない？」と書く

2 グループでは何もせずに、個別^{こべつ}にチャットで注意する

3 そのまま何もせず^{ちよくせつ}に、次の日に直接注意する

4 グループから外す



★ スキルのポイント

チャットを使うと、いつでも意見を共有することができますが、誰かを傷つけたり、自分が非難されたりするトラブルもあります。何か変なことを書き込まれた場合は、その場で書いた人を非難するようなコメントを書くと、相手と言いあいになってしまうこともあるので、まずは書き込まれた画面をスクリーンショットで保存し、少し時間をおいてから、個別のチャットや直接、注意するとよいでしょう。よりひどい書き込みがされた場合には、先生にも報告・相談するようにしましょう。



共有する

まとめ

よき使い手になるために

端末たんまつを使って「共有」や「発表」を行う場合には、相手のことを意識いしきする必要があります。

どんな人がこの情報じょうほうを受け取るのかを想像そうぞうしながら、「どうすれば相手に伝わりやすいかな」ということを考え、工夫してみましよう。

チェックしてみよう

- わたし 私は、上手に友だちと意見を共有することができる
- わたし 私は、友達と情報じょうほうを共有することのメリットを説明できる
- わたし 私は、チャットなどテキスト（文字）で伝えるときにどんなことに気をつければよいかを説明できる
- わたし 私は、チャットで変なコメントを書かれたときに、どう対応たいおうすればよいかを説明できる



SNSでは、いろいろな情報じょうほうが文字や映像えいぞうで共有されます。これらは、文字を目で見る、映像えいぞうを耳で聞くことで、その情報じょうほうを相手と共有できますが、最近では、「におい」を離れた人はなと共有する方法なども研究されています。これからの社会では、五感（目で見る・耳で聞く・口で味わう・鼻でかぐ・手でさわる）を相手と共有することもあるかもしれません。

考えてみよう①

今後、五感の中で、離れた人はなと共有されることはどんなことがあるだろうか。

考えてみよう②

もし、そうした情報じょうほうが他の人と勝手に共有されたら、どんな問題が起きるだろうか？